発達障害児・者支援の課題と方向性(改訂)(骨子案)

- 1. はじめに
- 2. 発達障害者を取り巻く状況
- (1) 京都府内の発達障害者数
- ① 乳幼児期
- ② 学齢期
- ③ 成人期
- (2) 京都府における主な発達障害者支援
- 3. 発達障害者支援の課題と方向性
- (1) 発達障害者支援によって目指すべき社会
- (2) オール京都体制の支援・連携ネットワークの構築
- (3) ライフステージに対応した支援
 - ① 乳幼児期
 - →検討課題:「事後支援(ペアトレ、SST)の普及」
 - ② 学齢期
 - →検討課題:「事後支援の普及」「学齢期支援」(支援ファイル、移行支援シート)
 - ③ 成人期
- (4) 支援体制の整備
 - ① 相談支援体制
 - →検討課題:「発達障害者圏域支援センター」「学齢期支援(相談支援)」
 - ② 医療提供体制
 - →検討課題:「医療提供体制」
 - ③ 福祉サービス提供体制
 - →検討課題:「学齢期支援」(放課後等デイサービスの質の向上)
- (5) 人材の育成
 - →検討課題:「専門職養成の方策」「医療提供体制(医師養成)」
- (6) 発達障害の理解促進
- (7) その他